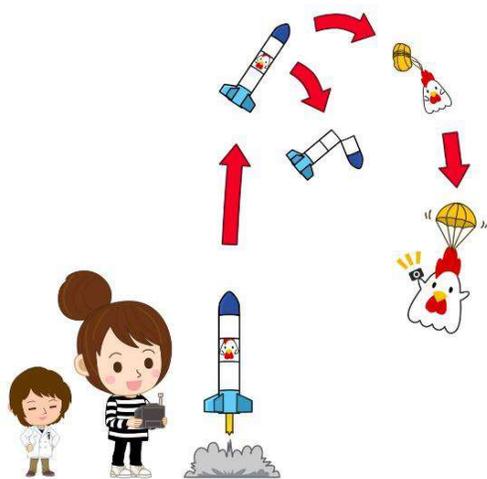


「缶サット甲子園2021和歌山地方大会」 実施報告書



缶サット甲子園2021
和歌山地方大会実行委員会

実施要領

- 大会名称 : 缶サット甲子園2021和歌山地方大会
- 開催時期 : 2021年7月17日(土)と18日(日)
- 開催場所 : 和歌山県串本町

- 会場
打上競技会場 : 望楼の芝 (和歌山県東牟婁郡串本町潮岬 2706-26)
南紀熊野ジオパークセンター
(和歌山県東牟婁郡串本町潮岬 2838-3)
事前・事後プレゼン審査会場、宿泊 : 和歌山県立潮岬青少年の家
(和歌山県東牟婁郡串本町潮岬669)

- 審査内容
 - (1) ミッション概要資料
 - (2) 事前プレゼン審査
 - (3) 打上競技
 - (4) 事後プレゼン審査

- 審査員
審査委員長: 山下真先生 (紀泉工房代表)
審査員: 山本三七男先生 (株式会社ビジュアル・テクノロジー研究所 社長)
審査員: 大橋直記先生 (株式会社Geolonia)

実施要領

- 主催 : 缶サット甲子園和歌山地方大会実行委員会
- 共催 : 「理数が楽しくなる教育」実行委員会
和歌山大学クロスカル教育機構 教養・協働教育部門
和歌山県宇宙教育研究会
串本町
串本町教育委員会
- 後援 : 和歌山県教育委員会 和歌山市教育委員会 NHK和歌山放送局 朝日新聞和歌山総局
株式会社テレビ和歌山 株式会社和歌山リビング新聞社 産経新聞社
ニュース和歌山株式会社 毎日新聞和歌山支局 読売新聞和歌山支局 わかやま新報
日本宇宙少年団和歌山分団
- 協力 : 和歌山県電器商業組合青年部 <http://www.chuokai-wakayama.or.jp/wadensho>
和歌山市加太観光協会 <http://www.kada.jp/>
和歌山市加太地域活性化協議会 <http://www.kada.jp>
加太まちづくり株式会社 <https://www.kada.center/>
未来スクール実行委員会 <http://wakayama-senkaku.or.jp/mirai/>

実施要領

- 協賛：
 - 株式会社島精機製作所 <http://www.shimaseiki.co.jp/>
 - 株式会社ローソン <http://www.lawson.co.jp/index.html>
 - 三木理研工業株式会社 <http://www.mikiriken.co.jp>
 - 株式会社タカショーデジテック <https://takasho-digitec.jp/>
 - 株式会社東組
 - セイカ株式会社 <http://www.waseika.com/index.html>
 - 太洋工業株式会社 <http://www.taiyo-xelcom.co.jp/>
 - WAO!LAB <http://www.waolab.jp>
 - 株式会社ワインプレスインターナショナル <http://www.winepress.co.jp>
 - 株式会社山本進重郎商店 <http://www.yamasin.co.jp>
 - メイク広告株式会社 <http://meiku-koukoku.com>
 - 株式会社ディーブジャパン <https://deep-japan.co.jp/>
 - 学校法人雄湊学園雄湊幼稚園 <http://www.naxnet.or.jp/~onominat/>
 - 株式会社ダイセン電子工業 <http://www.daisendenshi.com/>

実施要領

- 協賛の続き：
 - 株式会社Geolonia
 - 小西化学工業株式会社 <http://www.konishi-chem.co.jp>
 - 阪和電子工業株式会社 <http://www.hanwa-ei.co.jp/>
 - 株式会社PLUS SOCIAL <http://plus-social.co.jp>
 - 啓林館 <https://www.shinko-keirin.co.jp>
 - N E C フィールディング株式会社 <https://www.fielding.co.jp/>
 - 株式会社B E E <http://bee-design.co.jp>
 - 株式会社K E G キャリア・アカデミー <http://www.k-e-g.co.jp>
 - 第一電機設備工業株式会社 <http://www.daiichi-denki.com/>
 - 株式会社かじもと https://re-model.jp/webapp/remodel_club/view/RC112901
 - 紀州技研工業株式会社 <https://www.kishugiken.co.jp/>
 - 学校法人山本学園 I B W 美容専門学校 <https://www.ibw.ac.jp/>
 - 南海総合法律事務所 <http://www.nankai-law.jp/>
 - 株式会社セントラルエステート

実施要領

- 協賛の続き : 十番丁 西本写真館 <http://www.nishimoto-shashinkan.co.jp/>
株式会社MANPA <http://www.manpa.co.jp/>
漁火の宿 シーサイド観潮 <http://www.kancho.co.jp/sp/spa/>
株式会社ビジュアル・テクノロジー研究所 <http://vtl.co.jp/>
株式会社結愛 <https://www.minnanokaigo.com/corp/9170001011302/>
有限会社ナルデン <http://www.naruden.com/>
小倉産業株式会社
株式会社ウチハタ <http://www.uchihata.co.jp/>
m art space
医療法人青松会パインドーム <http://www.seishou-kai.jp/>
有限会社プロテック <http://www.proteck.info/>
佐藤貿易 <http://www.bekkoame.ne.jp/~v2rocket/>
学校法人 田原学園
吉田 浩毅

実施要領

- 開催目的 : 高校生が自作したモデルロケットで自作した缶サット（空き缶サイズの模擬人工衛星）を打ち上げ、上空での放出・降下・着地の過程を通じて、技術力・創造力を競う事で、次の事を目的とする。
 - (1) 理工系の楽しさ、面白さ、魅力などを感じてもらい、広く科学や工学への興味と関心を高めること。
 - (2) 座学で学んだ知識について、その働きと役割を自ら実感出来る体験をすること。
 - (3) 与えられた課題だけではなく、生徒自ら課題を発見出来る能力やプレゼンテーション能力を身につけること。
 - (4) 理工系への進路選択を後押しすること。
 - (5) 缶サット甲子園全国大会への出場推薦校を決めること。全国大会の日時、開催場所は未定。

- 実施体制

和歌山地方大会事務局：

(連絡先) 和歌山県立桐蔭高等学校 教諭

缶サット甲子園和歌山地方大会実行委員長 藤木 郁久 (JAXAスペース・ティーチャー和歌山)

cansatwakayama@gmail.com TEL : 073-436-1366

本年度の参加校

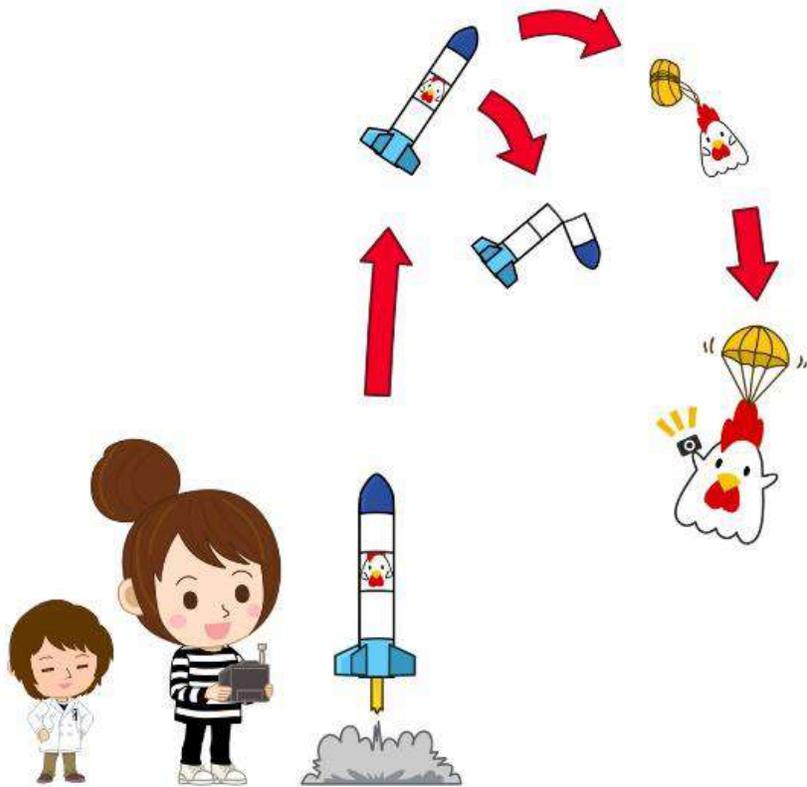
- 和歌山県立桐蔭高等学校
- 和歌山県立向陽中・高等学校
- 和歌山県立海南高等学校
- 和歌山県立串本古座高等学校
- 大阪府立茨木工科高等学校
- 大阪電気通信大学高等学校
- 兵庫県立芦屋国際中等教育学校

計7校（昨年は6校）

※学校単位で参加

缶サット競技概要

斬新なアイデアを盛り込み、実施し自作した缶サットを、自作したモデルロケットにより打ち上げ放出し、自ら設定したミッションの実行、投下後にミッションの結果確認を行います。



評価基準

- 斬新なアイデアを盛り込み、実施し達成できたか。
- 従来のやり方でなく、オリジナリティの高いミッションであるか。
- アイデアは従来通りでも、如何に確実に実現し達成できたか。
- 意義の高いミッションを設定し、実施できたか。
- ミッションにおいてデータ取得をする場合、複数データを組み合わせて複合的に解析ができたか。
(例えば、加速度と照度計や温度計のデータを組み合わせて、物理状況をきちんと再現できていること)
- ミッションで得られた情報の整合性に関しても踏み込んだ検証を行ったか。

大会の様子

- ・ 開会式と事前プレゼン、機体審査



審査員の先生方



大会の様子

・2日目開始の挨拶



串本町長の挨拶



大会の様子

- 発射準備・ロケット打ち上げの様子



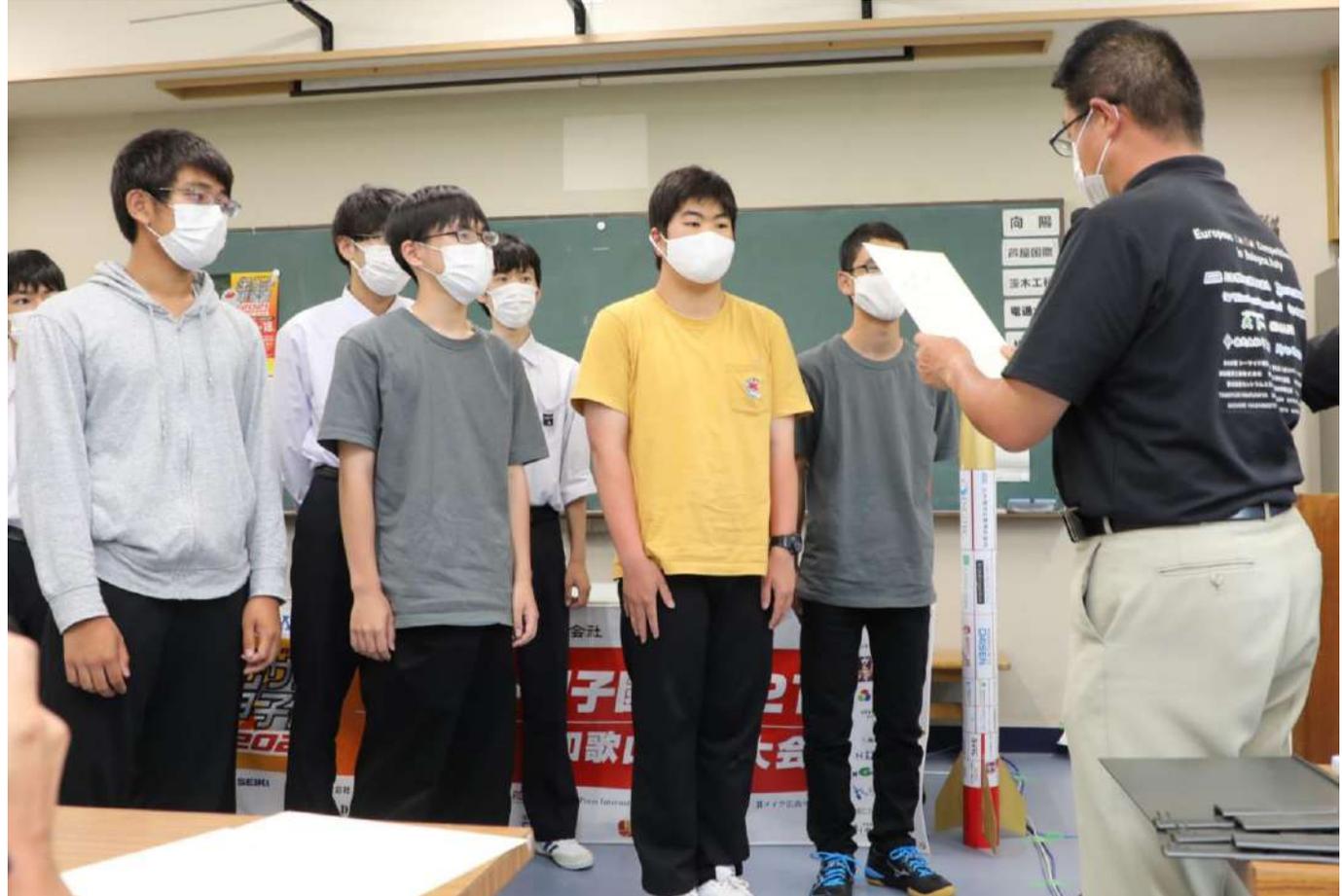
大会の様子

和歌山地方大会参加者集合写真



大会の様子

事後プレゼン・表彰の様子



横断幕の横には協賛企業さまロゴ入り、大型モデルロケットを展示しました。

審査結果

優勝	和歌山県立桐蔭高等学校
準優勝	和歌山県立向陽中・高等学校
3位	和歌山県立海南高等学校

※缶サット甲子園2021全国大会の日時、開催場所及び本大会から全国大会への出場校数は未定

缶サット甲子園2021 和歌山地方大会のポスター

ポスター200枚
チラシ3000枚を
串本町と那智勝浦町の小学校
と中学校へ1人1枚配布
及び協賛企業他に配布

CANSAT
缶サット甲子園
2021
和歌山地方大会
目指せ全国! 進出チームはどこだ?!

2021 **7.17-18** 日
打上競技会場: 望楼の芝・南紀熊野ジオパークセンター
事前・事後プレゼン審査会場: 和歌山県立潮岬青少年の家
9:30~17:00 見学無料! あり!

17日 15:00~ 開会式・事前プレゼン審査(和歌山県立潮岬青少年の家)
18日 9:30~ 打上競技(望楼の芝・南紀熊野ジオパークセンター)
14:30~ 事後プレゼン審査(和歌山県立潮岬青少年の家)

[審査員] 山下 真 先生(紀伊工務代表) 山本 三七男 先生(株式会社ビジュアル・テク
テクノロジー研究所 社長) 大橋 直紀 先生(株式会社Geolonia)

缶サット甲子園とは?
高校生が自分たちでオリジナリティのあるモデルロケット
と缶サットを作成、モデルロケットで缶サットを打ち上げ、
上空での放出・降下・着地の過程を通じて、技術力と創造
力、そして「coolさ」を競います!
和歌山地方大会は、全国6地方大会しかない中の1つ。
県内外のチームが全国大会を目指して競います。

缶サット! 空き缶サイズの模範人工衛星

■和歌山地方大会選抜校の実績■
2010年
桐蔭高校が**全国優勝**をしてアメリカへ
2012年
日高高校が**全国優勝**をしてアメリカへ
2011年・2014~2017年・2020年
桐蔭高校が**全国準優勝**
2018年
桐蔭高校が**全国優勝**をしてイタリアへ

事前申し込みなしで
応募いただけます!
みんな
見に
きてね!

主催: 缶サット甲子園和歌山地方大会実行委員会
共催: 「理数が楽しくなる教育」実行委員会 和歌山大学クロスカル教育機構 教養・協働教育部門 和歌山県宇宙教育研究会 串本町 串本町教育委員会

[後援] 和歌山県教育委員会 和歌山市教育委員会 | NHK和歌山放送局 | 朝日新聞和歌山版 | 株式会社テレビ和歌山 | 株式会社和歌山リビング新聞社 | 産経新聞社 | ニュース和歌山株式会社 | 毎日新聞和歌山支局 | 読売新聞和歌山支局 | わかやま新報 | 日本宇宙少年団和歌山分団

[協賛] 三木理研工業株式会社 | 株式会社タカショー・デジテック | 株式会社ローソン | 株式会社自轉機製作所 | セイカ株式会社 | 株式会社東風 | WAO ILAB | 株式会社ワインプレスインターナショナル | 株式会社山本通重商店 | メイク広告株式会社 | 株式会社ティープジャパン | 学校法人 健康学園 健康幼稚園 | 株式会社ダイセン電子工業 | 株式会社Geolonia | 太平洋工業株式会社 | 阪和電子工業株式会社 | 株式会社PLUS SOCIAL | 株式会社新興出版社 啓林館 | 株式会社BEE | 株式会社KEGキャリア・アカデミー | 第一電機設備工業株式会社 | 株式会社かしもと | 紀州技研工業株式会社 | 学校法人山本学園 | BW美容専門学校 | 南海総合法律事務所 | 株式会社セントラルエステート | 株式会社MANFA | 株式会社ビジュアル・テクノロジー研究所 | 株式会社ナルデ | Im art space | 小倉産業 | 十番丁 西本写真館 | 小浜化学工業株式会社 | INECフィールドディング株式会社 | 株式会社紀受 | 株式会社ウチハタ | 医療法人 青松会 | バイドーム | 有限会社プロテック | 佐藤貿易 | 学校法人 田原学園 | 吉田浩毅

[協力] 和歌山県電器協業組合青年部 | 和歌山市加太観光協会 | 和歌山市加太地域活性化協議会 | 加太まちづくり株式会社 | 未来スクール実行委員会

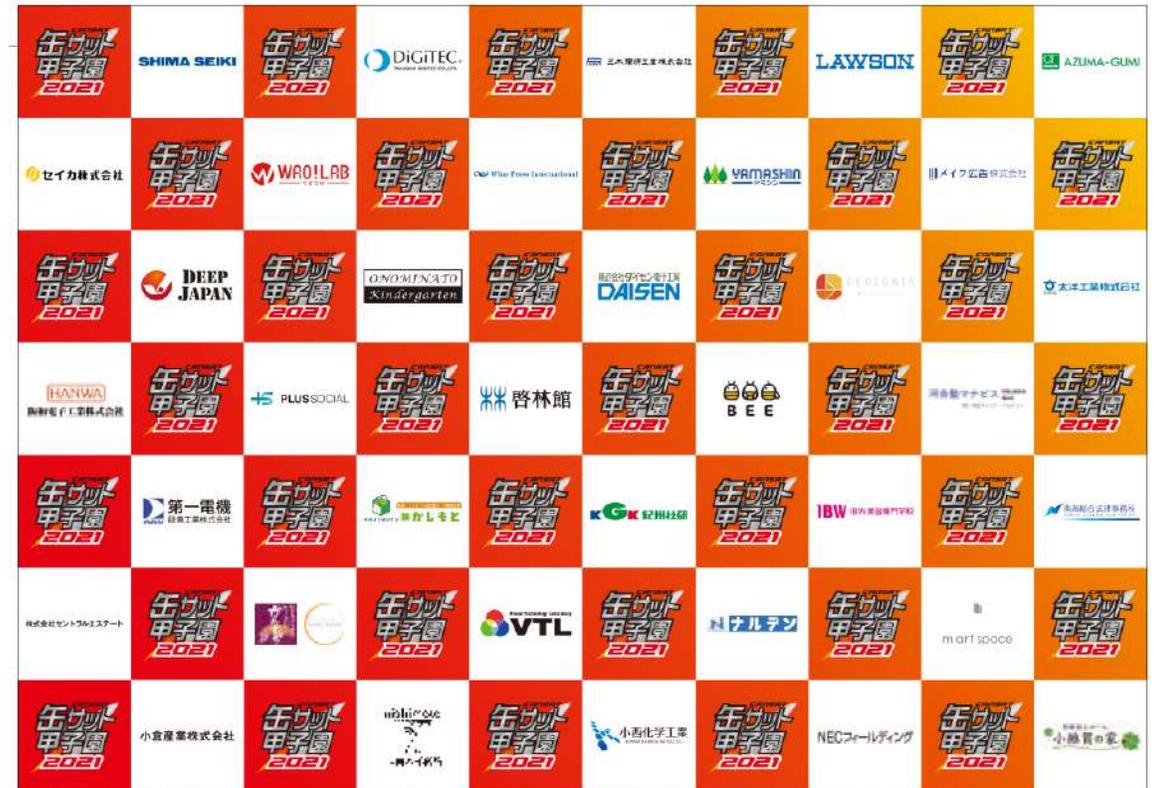
お問合せ先

[和歌山地方大会事務局]
和歌山県立桐蔭高等学校 教諭
缶サット甲子園和歌山地方大会実行委員長 藤木 郁久

TEL | 073-436-1366
E-mail | cansatwakayama@gmail.com
http://www.space-koshien.com/cansat/

facebook.

協賛企業様のロゴ入り バックパネルと横断幕





ニュースの連絡と購読のご用命は 串本文局 〒649-3503 串本町串本2304 成和ビル1F TEL:0735(62)7171 FAX:0735(62)6692 坂井新聞部 串本町串本1865 TEL:0735(62)3552 FAX:0735(62)0897 林新聞部 串本町西向233 TEL:0735(72)0043 FAX:0735(72)3423

串本港潮位表 (7月15日 木) 満潮 時刻 8:41 時刻 21:59 干潮 時刻 3:05 時刻 15:19

串本港潮位表 (7月16日 金) 満潮 時刻 9:39 時刻 22:39 干潮 時刻 3:57 時刻 16:05

串本で17、18日 模擬人工衛星打ち上げ 7高校が「ロケットの町」で

高校生がモデルロケットと「缶サット」と呼ばれる空き缶サイズの模擬人工衛星を作って打ち上げ、上空での放出や降下、着地の過程を通じ、技術力・創造力を競う「缶サット甲子園2021」の和歌山地方大会が17、18の両日、県内外から7校が参加し串本町で開かれる。日本初の民間小型ロケット発射場ができることから「ロケットの町」としてPRしている同町での開催は初めて。18日午前9時半から同町潮岬の「望楼の芝」で予定している打ち上げなどが見学できる。



主催する和歌山地方大会実行委員会によると、缶サット甲子園は、将来の進路選択を控えた高校生たちに、取り組みを通して、理工系の楽しさや魅力などを感じてもらい、科学や工学への興味と関心を高めることを目的に2008年から全国大会がスタート。予選大会である和歌山地方大会は10年から始まり、毎年、和歌山市加太で開いてきた。 串本町初開催となる今年大会は、串本古座高校(串本町)や桐蔭高校(和歌山市)、茨木工科高校(大阪府)、中高一貫校である芦屋国際中等教育



と、予選大会である和歌山地方大会は10年から始まり、毎年、和歌山市加太で開いてきた。 串本町初開催となる今年大会は、串本古座高校(串本町)や桐蔭高校(和歌山市)、茨木工科高校(大阪府)、中高一貫校である芦屋国際中等教育

昨年「缶サット甲子園」和歌山地方大会で打ち上げられた自作のロケット(和歌山市加太) 和歌山地方大会実行委員会提供

首長日程 15日

▽串本町長 在庁 ▽古座川町長 在庁

市まで見に行き、せひロケットの発射場が造られていく串本で缶サット甲子園を開催していただきたいと思っていたところなので、大変うれしい。本年度中に計画されているロケット初号機の打ち上げに「浪花を添える形になるのではないかと話している。問い合わせは桐蔭高校(073・436・1366)の藤木教諭へ。

サンゴの産卵始まる 串本海中公園周辺 例年よりやや遅く

串本町有田にある串本海中公園センター周辺の海で、サンゴの産卵が始まった。8月下旬にかけて、さまざまな

初の串本で全国目指す 缶サット和歌山地方大会

高校生が空き缶で作った模擬人工衛星(缶サット)を打ち上げ、上空での放出や降下、着地の過程を通じ、技術力や創造力を競う「缶サット甲子園2021」の和歌山地方大会が、17、18の両日、串本町で開かれる。同町での開催は初めて。 初日の開会式と事前プレゼンテーション審査は、午後3時から県立潮岬青少年の家で行われる。翌日の打ち上げ競技は午前9時半から望楼の芝・南紀熊野ジオパークセンターで開催され、同日の午後2時半からは同青少年の家で事後プレゼンテーション審査がある。観覧無料。事前申し込み不要。問い合わせは事務局の発行委員長で、県立桐蔭高校の藤木郁久教諭(☎073・436・1366)。

2021年7月14日 わかやま新報

缶サット甲子園は2008年からスタートし、今年で14回目。10年から全国6地方大会の一つとして始まった同大会は、県内外のチームが全国大会を目指して競い、過去には連年、串本町が優勝し、世界大会に出場したこともある。ことしの出場チームは、南紀熊野陽子医療法人裕葉会中谷病院

2021年8月10日 テレビ和歌山

6 wakaイブニング「缶サット甲子園全国大会に挑む」

空き缶サイズの模擬人工衛星「缶サット」を高校生が作り、その技術力を競う「缶サット甲子園2021和歌山地方大会」が、民間の小型ロケット射場が建設中の串本町で7月18日に行われました。大会には、桐蔭、向陽、海南、串本古座の県立4校と、大阪府など県外から3校が出場、優勝した桐蔭科学部を取り上げ、全国大会に向けてさらなる技術力のアップに挑戦している姿をお伝えします。（HPより抜粋）



2021年8月10日 テレビ和歌山
6 wakaイブニング「缶サット甲子園全国大会に挑む」



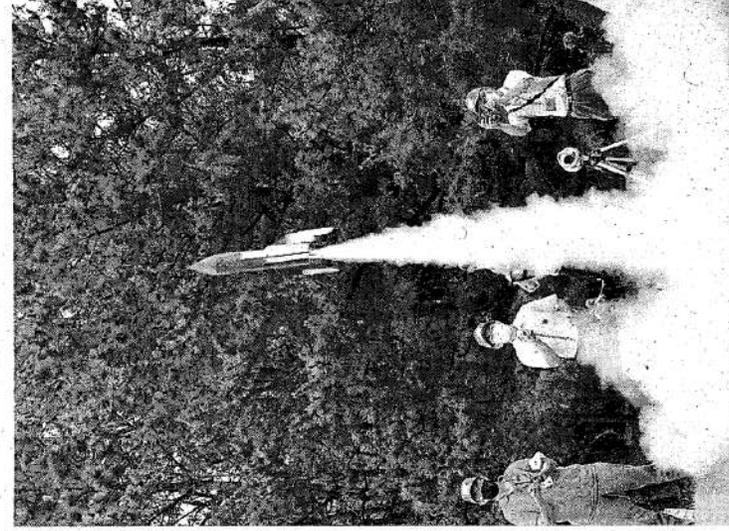
和歌山

和歌山総局
〒640-8156
和歌山市七番丁17
☎ 073(422)2181
fax 073(422)2183
mail: wakayama@asahi.com
橋本支局 ☎ 0736(32)0366
紀南支局 ☎ 0739(24)2340
新宮支局 ☎ 0735(22)5245

購読のお申し込み
配達お問い合せ
0120-33-0843
(7:00~21:00)

購読・配達のご用は
和歌山 (436)2323
(422)3545
橋本 (36)0033
有田 (88)2763
田辺 (22)0461
新宮 (22)2121
折り返しは
和歌山 (440)3788

高校生手作りの「衛星」打ち上げ



白煙をあげて飛び立つ手作りの「衛星」を載せたロケット＝串本町潮岬

串本で「缶サット」

県内外7校参加 桐蔭がV

高校生が自作した空き缶サイズの「衛星人工衛星」の技術などを競う「缶サット甲子園2021」の和歌山地方大会(朝日新聞和歌山総局など後援)が18日、串本町で開かれた。県内外の7校が参加。手作りの「衛星」を打ち上げ、日ごとの成果を披露した。

和歌山大会は2010年に始まり、桐蔭高が10年と18年に全国優勝した。大会では、各校が衛星にどんな

独自の機能をつけて作動させたかが審査される。今年の和歌山大会には県立の桐蔭、向陽海南、串本古座と大阪府立茨木工科、大阪電気通信大学、兵庫県立芦屋国際中等教育学校の7校が参加した。

各校は衛星に温度、湿度、加速度などが測れる装置をつけたり、着地後に自走する小型車を載せたりと工夫をこらした。

初出場の串本古座は、1年生の同じクラスのチーム。宇宙に興味をもつ3人が5月から準備を進めた。衛星には加速度センサーで機体を制御する装置をつけた。メンバーの清野健太郎さん(15)は「串本にできるロケット発射場は、宇宙を身近に感じさせる。夢を運んでくれるように



です。

大会実行委員長の藤本郁久・桐蔭高教諭は二年々、衛星の技術が向上しているのが心強い。和歌山でロケットや宇宙への機運が高まっていると話した。審査の結果、桐蔭が優勝、向陽が2位、海南が3位になった。今年の全国大会は未定という。(直井政夫)

【串本古座】打安打
010101010000
22232222220
本口木村里井海川水
200000000000
300000000000
600000000000

和歌山

〇和歌山

和歌山支局 〒640-8241
和歌山市雑賀屋町東ノ丁16
☎073-422-1144 FAX 422-1146

湯浅通信部 ☎073-482-1060
御坊通信部 ☎0738-22-0788
紀南通信部 ☎0739-22-1541
早本通信部 ☎0735-62-0324
新宮通信部 ☎0735-22-7178
橋本通信部 ☎0736-33-4833

ホームページ

www.yomiuri.co.jp/local/wakayama/

購読申し込み・配達 ☎0120-4343-81
広告のご用は ☎073-422-2115
読売旅行は
和歌山 ☎073-433-1366
田辺 ☎0739-81-3171

内科・循環器内科・内分泌内科
消化器内科・呼吸器内科・循環器内科

松谷内科

(一社)日本製薬学会認定 薬歴簿管理歴
院長 松谷 秀敏 副院長 松谷 紀彦

診療時間	月	火	水	木	金	土
8:45~12:00	○	○	○	○	○	○
13:30~15:30	○	○	○	○	○	○
16:00~18:30	○	○	○	○	○	○

和歌山市南町755-81 TEL.073-451-1700
松谷内科 和歌山

出演する
著名人ら



坂本冬美さん



ウインズ平阪さん



田中理恵さん



尾上菊之助さん

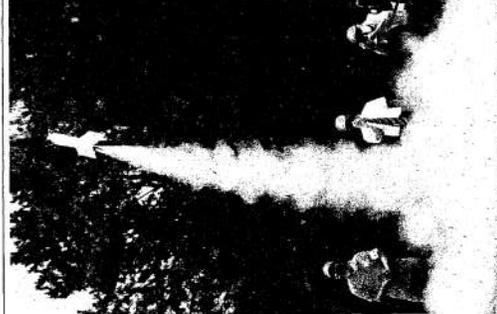


優月さん



尾上菊之助さん

(写真はいずれも県提供)



白煙を上げながら上昇するロケットを見守る生徒たち(串本町で)

空を舞うサイズの模擬人工衛星「缶サット」を打ち上げる高校生。大会「缶サット」

缶サット 夢乗せ空へ

大会に7校 桐蔭高優勝

上昇する生徒たち(串本町で)



日、串本町潮岬の「望楼の芝」で開かれた。大阪、和歌山、兵庫の3府県の計7校が技術力や創造力を競い合い、県立桐蔭が優勝した。2位は県立向陽、3位は県立海南だった。

大会は、自作の紙製ロケットに缶サットを搭載し、約80メートル上空まで打ち上げて放出させる。各チームは、「食糧生産可能な感量を飛昇する」(桐蔭)、「災害時におけるミッション」(海南)など、それぞれにミッションを定めており、その独自性や難易度も評価対象とされた。

▽2回戦
串本古座 2011 2011
日辺 241 2011
(5回コールド)

【串】橋本、崎口一猪村
山本一吉/川
▽二塁打 中本、横畑

▽3回戦
日高 202 108
高津 201 108

【中】原、白川一山西
▽二塁打 中野2、小川

高野山 131 818
田 130 818
(8回コールド)

【高】天野、高木一玉村
中岡、中本一宮本
▽三塁打 羽矢(笠)
(高)西岡(笠)

きょうの成績
(左が1塁側)

◇……紀三井寺球場

▽3回戦
9・00 和歌山東
11・45 和歌山北
14・30 智弁和歌山

小型ロケット発射場の建設が進む同町からは、県立串本古座高が初めて参加した。長野悠斗さん(15)、清野健太郎さん(15)、辻大貴さん(15)の1年生3人でチームを結成。プログラミングやロケット製作の知識はなかったが、桐蔭高生のアドバイスを受けながら6月から準備を進めてきた。1回目の発射はうまくい

なかったが、2回目は「天勢の人の力を借りて打ち上げるのができ、感動した。宇宙が身近な存在に感じられ、夢が膨らみます」と話していた。

開閉会式の観覧者募る

紀の国わかやま文化祭

県は、県内で今秋に開催される「紀の国わかやま文化祭2021」(10月30日～11月21日)の開会式や閉会式のプログラムを発表し、開閉会式の観覧者を募集している。開会式の総合

司会は元体操女子日本代表の田中理恵さんが務め、演歌歌手の坂本冬美さんら県出身者が多数出演する舞台もある。

開会式は10月30日午後3時から、和歌山市の和歌山



力投した日高中津の原玉将(紀三井寺球場で)



ニュースの連絡と購読のご用命は
串本支局
 〒649-3503
 串本町串本2-304
 成和ビル1F
 TEL:0735(82)7171
 FAX:0735(82)9692
坂井新聞部
 串本町串本1855
 TEL:0735(82)3552
 FAX:0735(82)0897
林新聞部
 串本町西町2-33
 TEL:0735(72)0048
 FAX:0735(72)3423

串本港潮位表
7月20日(火)

満潮	時刻	1:17
干潮	時刻	7:57
満潮	時刻	15:35
干潮	時刻	21:17
満潮	時刻	8:31
干潮	時刻	14:14
満潮	時刻	20:47
干潮	時刻	2:11

串本港潮位表
7月21日(水)

満潮	時刻	2:19
干潮	時刻	8:00
満潮	時刻	16:41
干潮	時刻	22:24
満潮	時刻	9:33
干潮	時刻	15:16
満潮	時刻	22:00
干潮	時刻	4:11

串本ならではのおもてなし

観光特急「銀河」



トルコ舞踊や橋杭岩案内

JR西日本の観光特急列車「WEST EXPRESS エクスプレス 銀河」の運行が16日から始まった。串本町串本のJR串本駅で17、18の両日、田嶋勝正町長や町のマスコミキャラクターらがホームで出迎えたほか、ガイドが国の名勝・天然記念物「橋杭岩」を案内したり、町トルコ文化協会が民族舞踊を披露したりして乗客を歓迎。関係者は「これを機に改めて串本へ来てほしい」と観光客の再訪につながることを期待していた。

銀河は京都・新宮駅間を運行。京都から新宮へは夜行で、新宮から京都の列車は昼行。運行は12月22日まで1週間に2往復する予定。
 串本駅には17日の午前6時すぎ、約50人の客を乗せて初めて到着した。田嶋町長やマスコミキャラクター「まぐとろ」・南紀串本観光協会の関係者らが「ようこそ串本町へ」と書いた横断幕を掲げ、旗を振って歓迎。田嶋町長は「待ちに待った銀河が串本に来てくれたうれしい。橋杭岩の見学などを楽しんでいただきたい。これをきっかけに、改めて串本にゆくりと観光に来ていただけたら」と話した。



横断幕を掲げて銀河を歓迎する田嶋勝正町長(中央)や町マスコミキャラクターら=17日、串本町串本で

高校生が「衛星」打ち上げ

ロケットの町・串本で



飛び立つロケット。下の写真は、放出されパラシュートで降下する缶サット(18日、串本町海岸で)



この記事の動画は「ニュースサイト「アカリ」で見ることができます。

高校生がモデルロケットと「缶サット」と呼ばれる空気の罐サイズの模擬人工衛星を自作して打ち上げ、上空での放出や降下、着地の過程を通して、技術力や創造力を競う「缶サット甲子園2021」の和歌山地方大会が17、18の両日、串本町であった。日本初の民間小型ロケット発射場ができた。

缶サット甲子園は、理工系の楽しさや魅力などを感じてもらい、科学や工学への興味と関心を高めることを目的として2008年から全国大会がスタート。予選大会である和歌山地方大会は10年から始まり、これまでは和歌山市加太で開いていた。
 今年大会には全国優勝の経験を持つ桐蔭高校(和歌山市)など県内外から7校が参加し、各校が取り組んでいた「ミッション」という目標を設定して挑戦。缶サットに温度や湿度、気圧、加速度などを観測できるセンサーなどを組み込み、ロケットで上空70メートルまで打ち上げ、データなどから得られた成果を発表して審査を受けた。
 串本古座高校からは、1年生のクラスメートという長野悠斗君(15)と江大貴君(15)、清野健太郎君(16)の3人がプロジェクトチームを結成して出場。1回目の打ち上げは失敗したが、2回目にはロケットが上がり、缶サットのパラシュートも開いた。ただ、加速度センサーを使った計測には失敗。清野君は「知識も物資も全くない状態から始めて大変だったが、桐蔭高校の方

にサポートしていたが、ここまでたどり着くことができ感謝している。あまり納得のいく結果ではなかったけど、参加できた本当によかった。まだまだこれから頑張りたい」と話し、来年の大会での活躍を誓った。
 大会は桐蔭が優勝。2位は向陽(和歌山市)、3位は海南(海南市)だった。全国大会の藤木郁久・桐蔭高校教諭(51)は「ロケットの発射場ができる串本でぜひ開きたい」と話していたので今回開催できて大変うれしい。缶サットの魅力を地元の人に知ってもらい、宇宙への関心を高めることができたと思う。今後とも和歌山市で2年、串本町で1年ぐらいうのペースで開催していければ」と話していた。



装を着て民族舞踊を披露し、乗客と一緒に記念撮影もして

教育・福祉

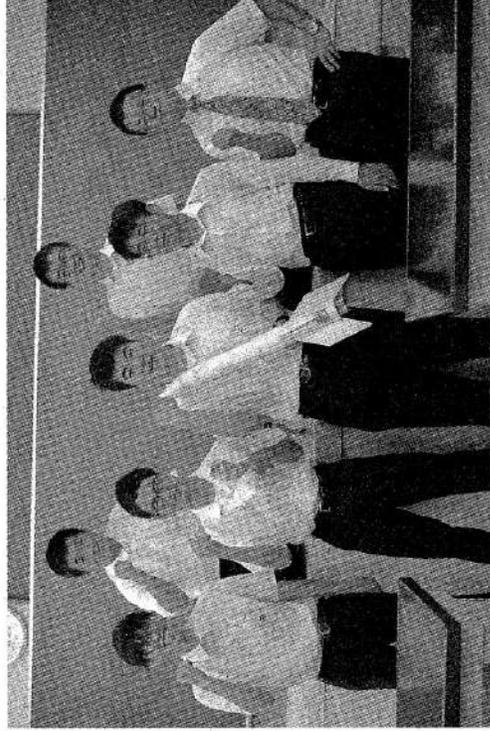


進化させ全国へ目指す

毎サット甲子園 地方大会で桐蔭高優勝

高校生が空手甲子園で自作した
機械人工衛星(毎サット)を打ち上
げ、技術力を磨き上げた「毎サッ
ト甲子園」の21和歌山地方大会
が7月、初の開催地、串本町海岸で
開かれ、県内外から各校が出場し、
県立桐蔭高校(和歌山市政上)科学
部の毎サット班が優勝した。優勝
は同校連続3回は海軍高校と県勢
がトップに輝いた。

4人の五男メバ 同校は2010
と指導者1人がチ 年、18年に全国大会
ムとなり、チーム での優勝経験を持つ
ごは考えをミッシ 実力校。新型コロナウイルス
ョンに基づいて毎サ ヲウイスの影響でオ
ットにはセンサーや ンライン開催となら
メタセンサー、モテ った昨年の全国大会
ロケットと打ち上げ は準優勝を勝ち取
る毎サットの撮影 った。
やデータ収集を行っ これも全国大会
他データを基にミ への進出を目指し、
ッションについての 桐蔭が掲げた今大会
プレゼンテーション のミッションは、「食
もわれ、技術力や 料生産可能な衛星を
想像力なる評価さ 発見する」。温度や
れる。 湿度、気圧、共加



桐蔭高校科学部の毎サット班の生徒と藤木教師(前列右)

速度をセンサーで測 してに加えて、替 水が水蒸気や氷にな
定、分析するところ 時に入れた水を方々 らす水のままだを予
ミッションのチャ ーを撮影しながら、 ることを示した。

無事に設置された小さなものはあまり

回遊ヘッド担当
の高船雄さん(16)
は大会2日前の時
点でセンサーが全く
動かず、何とか1日
前に修正できた。ト
ラックを巻くなが
ら藤木先生を驚かし
返り、優勝を喜ぶ
は馬でないからだ
のでうれしいと美
麗な見せた。
班長でプログラマ
ーの東郷航大さん
(16)はパラシエ
ットはパラシエ
ットのフリスが折
れずに戻ってきた。
毎サットにも損傷が
なかったと喜ぶ。

いた点について説
明。パラシエット担
当の土廣弘華さん
(16)は先輩たちの
パラシエットを受け
継ぎ、空感をだし
た「ロケットクリエイ
ターの吉田憲留
(矢野さん)は「は
「ロケットを作る
ため、中に竹こを
入れたら、それを
れの役割で土を震
らした。
当日は大会が始ま
る1時間前まで大雨
が降っていたにも
かわらず、小中学生
や地元の人も多く集
まったとい、同部

顧問の藤木邦久教諭
は、「ロケットの研
究は、ロケットの研
究を感したと笑顔。
「澄やかな水に絵の具
で色を付け、水の状
態をカメラに映して
存在を捉えるという工

夫、柔軟な発想が
面白く、毎サットと
いう限られたスパー
スに彼らのアイデア
が詰まっていたと
高く評価した。
新型コロナウイルス

スの影響で全国大会
の開催は未定だが、
同チームは「今回の
毎サットをまた進化
させ、全国優勝を目
指したい」と意気込
んでいた。

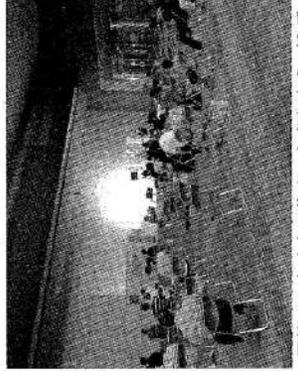
今一度防災見直して

『稲むらの火』65人が鑑賞

県BBS連・和歌山市BBS会主催の「ミユトナスタリア映画会」がこのほど、県立博物館・近代美術館(同品吹

土)のエンタランスで、稲むらの火の上映会を開催した。地震での被害に遭った人々の姿を映した『稲むらの火』を上映した。子ども12人を含む65人が参加し、美術館の外壁をスクリーン

に、屋外で鑑賞した。同会の代表者金井は、「何が起るかわからない時代だからこそ、今一度防災について見直さなければならぬ」と強い思いを参加者たちに伝えた。



屋外での上映会に参加者ら(和歌山市BBS会提供)

図書館点読ボランティア

養成講座31日まで募集

和歌山ビッグ愛(和歌山市手形)5階の県立図書館は、9月7日から来年3月1日までの指定全曜日(計18回)の午後1時半から3時まで、同館の研究で「点読ボランティア養成講座」を開く。

受講料は無料。テキスト代など1540円は実費負担。定員10人。募集人数を超えた場合は選考。参加希望者は、ホームページ(www.kyokusho.or.jp)からダウンロードできる申し込み用紙に必要事項を記入し、郵送(〒640-1831、和歌山市草2丁目1-2、県民交流プラザ和歌山ビグ愛5階)フックス(FAX:073-488-5731)、メール(kyokusho@kyokusho.or.jp)のいずれかで申し込む。締め切りは8月31日(必着)。

この頃です。そして、私に持ち合わせのままで、貴校の高校でした。大会で優勝などできたら

ロケット作り打ち上げ

小学生が体験 串本町子ども会連絡協

串本町子ども会連絡協は、(小原早子会長)は、ロケット作りを打ち上げる体験教室を町内で開き、小学生15人と保護者が参加した。

教室は和歌山市にある桐蔭中学校と福原高校の科学館(開室のため)を講堂と改修した。講師を務める、同中学



打ち上げたロケットを飛ばす小学生(前列左)串本町出雲(右)

70ほど、飛行ロケットはパラシュートで降参、ゆとり

参加した大島小5年の吉田伊吹君(11)は「うまく飛ばせてよかった。本物のロケットを見るのが楽しみ。小原会長(88)は「うまかった。目をキラキラさせるながら、真剣に取組んでいた。将来、串本の宇宙開発に携わる子どもが現れてくれたらいいな」と話していた。



パネルディスカッションで意見を交換する登壇者(串本町サンゴ台で)

連珠中の23、25日、日本初の民間小型ロケット発射場「スペースイット」が、串本町で、日本発射する宇宙開発者を招いた「串本町サンゴ台のロケット打ち上げ」の製作などを体験するイベントがあった。県主催の串本町サンゴ台ロケット打ち上げが近づくと、宇宙を身近に感じていた。



串本町サンゴ台のロケット打ち上げは、約200人が参加しては、オンラインの生配信は約1200人から申し込みがあった。この日は、宇宙飛行士の山崎直子さんと宇宙航空研究開発機構(JAXA)は、宇宙

2フロアにマナジャの津田雄一さん、人工衛星は宇宙ビジネスに取り組んでいる三菱電機の小山澤圭平技監、スペースポート紀伊から小型ロケットを打ち上げる会社「スペースワン」の遠藤守最(高松)と、東大大学院の中須賀真一教授が参加、講演やパネルディスカッションがあった。

「宇宙は皆を待っている」
宇宙飛行士・山崎さん
最初に講演した山崎さんは、2010年にスペースシャトル「ディスカバリー号」



講演する山崎直子さん

ち上げを促したことがきっかけだったが、裏で考えることとなり、自分もいつか行きたいなと宇宙開発に関わろうと夢を語っていた。このイベントは、串本町サンゴ台ロケット打ち上げの準備を進めている。串本町サンゴ台ロケット打ち上げの準備を進めている。串本町サンゴ台ロケット打ち上げの準備を進めている。

「人工衛星」作って理解

串本 中学生が缶サット体験

県宇宙教育研



「人工衛星」作って理解
串本 中学生が缶サット体験
県宇宙教育研

県宇宙教育研究会は、中学生が「缶サット」と呼ばれる空宇宙サイエンスの模擬人工衛星の製作を体験するイベントを串本町の桐蔭中学校で開いた。

同町が本年度中に人工衛星を打ち上げた初のロケットの打ち上げが予定されている。空宇宙サイエンスに欠かせない、空宇宙サイエンスに欠かせない、空宇宙サイエンスに欠かせない。